



第 30 号

発行

愛知県立美和高等学校同窓会
事務局

〒490-1295 あま市篠田五ツ藤1番地

TEL 052-443-1700

FAX 052-442-3917

<http://www.miwa-h.aichi-c.ed.jp/>

新しく伊奈校長を迎えての入学式。
40回生191名の高校生活がスタートしました。



11月27日(土)に基目寺観音で開催される「AMA
フェス2022」。多くの方に来ていただけるように
母校の後輩たちも広報で協力しています。

教育活動に多大なるご支援、ご協力を賜り、感謝申し上げます。

皆様には初めてのご挨拶になりますので、まずは自己紹介からさせていただきます。

私は、昨年度までは学校勤務ではなく、弥富市にあり「愛知県埋蔵文化財調査センター」所長と、清須市にあり「あいち朝日遺跡ミュージアム」館長を兼務しておりました。元々は高校の教員なのですが、40歳代半ばから遺跡の発掘調査に携わることにになり、現場に出ていた頃は、ヘルメットに作業着、長靴姿で発掘作業をしていました。博物館の館長の時には、来館者に展示品の解説をしたり、広報活動をしてという変り種です。久しぶりの学校に帰って、浦島太郎状態なのですが、新鮮な気持ちで日々過ごしています。

なぜ美和高校に赴任することになったのかはわかりませんが、異動が決まった時に不思議な「縁」を感じました。というのも、私は大学を卒業して、最初は七宝町役場(現あま市)に就職



校長 伊奈 和彦

この春の人事異動により、校長として本校に着任しました伊奈と申します。

同窓会員の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に多大なるご支援、ご協力を賜り、感謝申し上げます。

皆様には初めてのご挨拶になりますので、まずは自己紹介からさせていただきます。

私は、昨年度までは学校勤務ではなく、弥富市にあり「愛知県埋蔵文化財調査センター」所長と、清須市にあり「あいち朝日遺跡ミュージアム」館長を兼務しておりました。元々は高校の教員なのですが、40歳代半ばから遺跡の発掘調査に携わることにになり、現場に出ていた頃は、ヘルメットに作業着、長靴姿で発掘作業をしていました。博物館の館長の時には、来館者に展示品の解説をしたり、広報活動をしてという変り種です。久しぶりの学校に帰って、浦島太郎状態なのですが、新鮮な気持ちで日々過ごしています。

なぜ美和高校に赴任することになったのかはわかりませんが、異動が決まった時に不思議な「縁」を感じました。というのも、私は大学を卒業して、最初は七宝町役場(現あま市)に就職

したのです。しかし、どうしても教員になりたいという気持ちが強くなり、ほんの僅かな期間で辞めてしまいましたが、その際に上司が「必ず地域の学校に赴任しろよ」と言ってくれたのです。自分勝手な都合で辞めたのに、こんな言葉をかけていただいたことも感謝しています。あれから三十数年経って、どうも巡り合わせのおかげで、この地域に属する高校に就任することができました。本校の目標の一つは「地域密着の高校」です。あの時の上司との約束が果たされたように、使命感に駆られています。

もう一つ、親しみを覚えています。私の初任校は豊田市にある高校なのですが、開校年が同じで、学校の雰囲気や、校舎の構造(体育館下のピロティなど)がことごとく似ているのです。本校の4回生から13回生の皆さんは、自分が初任校で担任をした生徒たちと同じ世代です。今後お目に掛かることがあれば、より親近感がわいてくると思います。

さて、赴任早々、地域に挨拶回りをした際に、多くの方々から「美和高校の生徒さん、いいですね!」など、驚くほどお褒めの言葉を頂きました。また、訪問した先々でも「私も美和高校の卒業生なんです」と仰る方々にもお目に掛かりました。本校が、地域に愛され、地域に根ざした学校に育てられていくことが、今後の目標です。今後とも母校へのご支援の程よろしくお願い致します。

「はじめまして」

四十周年を迎えることができました。四十周年の歴史の中で御協力いただきました教育委員会、歴代校長、教員の皆様、事務局、そして同窓生、在校生の皆さん、入学した当初は思えば、四十年前私が入学した開校当初は南館、自転車小屋などがなく、徒歩通学で通ったこと、入口付近にラインを引き、一礼してから教室に入ったこと、先輩も後輩もなかったことなど新設高校ならではの思い出があります。四十周年経過後は、先輩も後輩もなくなりました。なごやかで穏やかな環境を思いやり、生徒を育成する教育活動が継続されております。また、今後の美和高校が目指す新しいコンセプト「地域密着の高校を目指す」も発表されて、在校生は地域の皆様と交流を通じコミュニケーション



「ご挨拶」

同窓会長 山崎 一孝

現在、新型コロナウイルス第七波が全国を襲っており、くれぐれもお体には御自愛ください。くれぐれもお祈り申し上げて私の挨拶とさせていただきます。

ニケーション力の向上をはかり自己の目標実現のために努力されております。

そして、令和三年度には地域活動の拠点として、「美和高校地域連携センター(美和高マインド)」が設立されました。美和高マインドを通して、生徒の活躍の場を校外の地域活動に広げられております。私も参加させていただいて、視点で意見を出していただき、非常に斬新で良いバランスで運営されていると感じます。

さて、私は十年間同窓会会長を担わせていただきました。その間に、同窓会への調和と在校生のフィジカルな面やメンタルな面の向上支援を旗印とさせていただきました。開校四十周年記念行事として本年十月には劇団四季キャッツ名古屋公演への在校生参加に対する補助を決定させていただきました。この件に関する補助を決定させていただいた際の御理解のほどをよろしくお願い申し上げます。

同窓会長の山崎です。平素は同窓会活動に格別な御理解、御協力を賜り誠にありがとうございます。本年、愛知県立美和高等学校は創立四十周年を迎えることができました。四十周年の歴史の中で御協力いただきました教育委員会、歴代校長、教員の皆様、事務局、そして同窓生、在校生の皆さん、入学した当初は思えば、四十年前私が入学した開校当初は南館、自転車小屋などがなく、徒歩通学で通ったこと、入口付近にラインを引き、一礼してから教室に入ったこと、先輩も後輩もなかったことなど新設高校ならではの思い出があります。四十周年経過後は、先輩も後輩もなくなりました。なごやかで穏やかな環境を思いやり、生徒を育成する教育活動が継続されております。また、今後の美和高校が目指す新しいコンセプト「地域密着の高校を目指す」も発表されて、在校生は地域の皆様と交流を通じコミュニケーション